

カイトサーフィン

沖縄の美しい海岸近くにカラフルな変形風が舞っていた。良く見ると水面を滑るように人がボードに乗って楽しんでいる。これは最近徐々に愛好者が増えてきたウォータースポーツ「カイトサーフィン」だ。

マリンスポーツの楽しみ方は時代と共に大きく変化しているようだ。私達の子供のころは浮輪と水中眼鏡を持って遊んだものだが、大人たちはボートにヨット等で楽しんでいたように思う。

あれから半世紀が経過した。平和で経済発展が著しい日本では、ウォータースポーツでの人間の欲望も急速に進化し続けている。ウィンドサーフィン、パラセーリング、水上オートバイ、ウェイクボード、シュノーケリング、ウォーターサイクリング等、挙げればきりが無い。その中の一つに私が初めて見た「カイトサーフィン」があった。

美しい海に囲まれた沖縄はマリンスポーツのメッカだ。沖縄本島南部に位置する南城市にある新原（みーばる）ビーチもその一つ。ここは適当な風が吹くことで有名である。カイトサーフィンを楽しむ人達が白い浜辺に10人ほどいるであろうか。上級から初心者まで様々であった。このスポーツはカイト（風）を両手で操り、ボードに乗った状態で水上を滑走するのである。時に風に乗ればかなりのスピードが出る。そして水面を数メートルの高さまで飛び上がり、宙を回転する大技も見せてくれる。

南国の海は人を引き付ける大きな魅力を持っている。体力に自信があった私だがもう少し若ければもっと人生を楽しめたかも知れないと感じる今日であった。

撮影 2012 年春

